



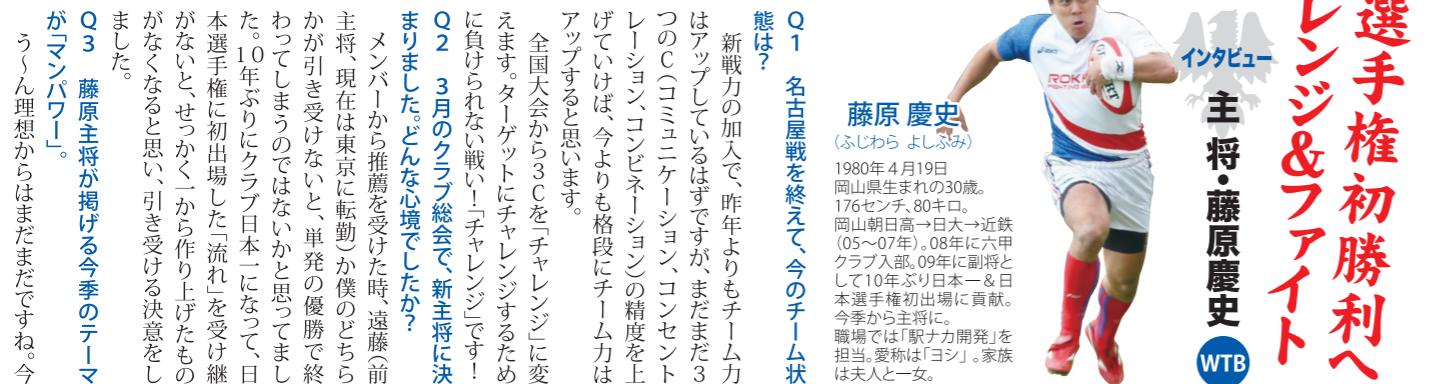
ROKKO NEWS

<http://www.rokkorugby.com>

特定非営利活動法人
六甲クラブ



次に繋がる負けはない。負けて出来るのは言い訳だけ。
勝負事は勝つ事に意味がある。勝たなければ意味が無い。



連覇＆日本選手権初勝利へ チャレンジ＆ファイト

インタビュー

主将・藤原慶史

WTB

藤原 慶史
(ふじわら よしみ)

1980年4月19日
岡山県生まれの30歳。

176センチ、80キロ。

岡山朝日高→日大→近鉄

(05~07年)。08年に六甲

クラブ入部。09年に副将と

して10年ぶり日本一&日

本選手権初出場に貢献。

今季から主将に。

職場では「駆力開発」を

担当。愛称は「ヨシ」。家族

は一人と一女。

Q1 名古屋戦を終えて、今のチーム状態は?

新戦力の加入で、昨年よりもチーム力

はアップしているはずですが、まだまだ3

つのJ(ヨミ)ユニケーション、コンセント

に負けられない戦い!「チャレンジ」です!

アッパーすると思います。

全国大会から3Cを「チャレンジ」に変

えていけば、格段にチーム力は

上がります。だから作り上げたもの

がなくなると思い、引き受ける決意をし

ました。

Q3 藤原主将が掲げる今季のテーマが「マンパワー」。

うん理想からはまだまだですね。今

連覇＆日本選手権初勝利へ
チャレンジ＆ファイト

主将・藤原慶史

WTB

藤原 慶史
(ふじわら よしみ)

1980年4月19日
岡山県生まれの30歳。

176センチ、80キロ。

岡山朝日高→日大→近鉄

(05~07年)。08年に六甲

クラブ入部。09年に副将と

して10年ぶり日本一&日

本選手権初出場に貢献。

今季から主将に。

職場では「駆力開発」を

担当。愛称は「ヨシ」。家族

は一人と一女。

Q4 同大Aと近鉄の練習試合に大敗し、厳しい現実を叩きつけられました。

同大戦は本当にショックで、しばらく呆然としてしまいました。でも選手はおそらく火がついたのではないのでしょうか?

「結局、やらなければ勝てませんよ」と…。

近鉄戦は急遽決まり、メンバーを必死にかき集めて臨みました。後半突き放されましたが、前半は皆死に食らいついでいました。これも大きな自信となり、ターニングポイントとなりました。

Q5 今季のキープレイヤーは?

F-Bでは鎌田と舛尾さんの両F-Lです。鎌田はあの細い体での鋭いタックルと、抜群のコースでのサイド攻撃はさりに磨きがかかるべきです。舛尾さんの守備範囲の広さはさすがです。ゲーム中もFWをよくまとめてもらつて助かつてます。

BKでは橋詰です。テンポといい、プレー判断が抜群です。六甲連覇の重要なカギを握る男ですね。

Q6 全国大会、昨年にも増して強豪が

そろいました。どう戦っていきますか?

Q7 個人トレーニングの内容は?

近鉄の駅ナカビジネス担当です。「スク

ラップ&ビルド」を繰り返し、常に時代の

トレンドを追いかけてますよ。皆さん

周りに話題のお店があればぜひ近鉄の

藤原まで情報をお願い致します(笑)。

帰宅時に、ひとつ手前の駅から走って帰ります。ゴミ捨ての時に、公園の鉄棒で懸垂もやります。体幹トレーニングも欠かしません。常に頭のこと

Vol.4

全国大会直前号



ROKKO NEWS



東田哲也 副理事長兼GM

我々クラブチームにとって大切なことは、何と言っても地域密着です。そのためにはラグビーを通じて「六甲クラブ」を知つてもらうことだと思います。

現在活動中の「ラグビークリニック」・「ドリームラグビー」(六甲アイランド)で開催された。

参加したのは、昨年に続き「兵庫県ラグビースクール」に所属する3歳から中学



純粹な笑顔と瞳に勇気と感動!
「第3回ドリームラグビー」

ラグビーで地域を元気にする

毎回の参加でお互いにおなじみさん、生、女子ラグビーチームまでの約150名が初参加の方、それぞれのベースで走る、体をぶつけあう、声をかけあう、ラグビーを楽しむ。自然と笑顔が出ます。

六甲選手もこの日はボールをつないで走る、タックルの代わりに、ボールを持つている。人々にタッチする、というものです。ラグビーの試合を体験していただこうと初めて書きは、全国大会のロッカールームに貼り選手・スタッフ共に、力を与えてもらいました。

今年も、連覇へ向けて激励の寄せ書きをいただきました。昨年いただいた寄せ書きをいただきまし。全国大会のロッカールームに貼り選手たちが、力と一緒に、今年も、連覇へ向けて激励の寄せ書きを書いてきました。またおなじみさんたちもその練習に参加しなが

ら楽しい時間を過ごすことができました。タックルの代わりに、ボールを持つている。人々にタッチする、というものです。ラグビーの試合を体験していただこうと初めて書きました。今年も、連覇へ向けて激励の寄せ書きを書いてきました。またおなじみさんたちもその練習に参加しなが

ら楽しい時間を過ごすことができました。

そして、今回もこの日はボールをつない

で走る、タックルの代わりに、ボールを持つている。人々にタッチする、というものです。ラグ

ビーの試合を体験していただこうと初め

て書きました。

タックルの代わりに、ボールを持つてい

る、人々にタッチする、というものです。ラ

グビーの試合を体験していただこうと初め

て書きました。

タックルの代わりに、ボールを持つてい

